

中間検査申請書  
(第一面)

建築基準法第7条の3第1項又は第7条の4第1項（これらの規定を同法第87条の4又は第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定により、検査を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

ハウスプラス住宅保証株式会社 殿

申請日を記入してください → 年 月 日

申請者氏名

建築主、設置者又は築造主が2以上の場合は、全てを記入してください

第四面に記載の事項は、事実と相違ありません。

工事監理者氏名

確認申請時より監理者の変更がありましたら、変更届をご提出ください

【検査を申請する建築物等】

該当するチェックボックスの「■」を選択してください

- 建築物  建築設備（昇降機）  
 建築設備（昇降機以外）  工作物（昇降機）  
 工作物（法第88条第1項）

以下の※欄は記入しないでください

※手数料欄				
※受付欄	※検査の特例欄	※検査欄	※決裁欄	※中間検査合格証欄
年 月 日				年 月 日
第 号				第 号
係員氏名				係員氏名

**【1. 建築主、設置者又は築造主】 複数の場合は、別紙にて記載してください**

【イ. 氏名のフリガナ】

【ロ. 氏名】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

**【2. 代理人】 代理者が申請される場合は、委任状を添付してください**

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録 第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録 第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ハ. 電話番号】

**【3. 設計者】 ※記入欄が不足する場合は、欄を行追加するか別紙を作成してください**

(代表となる設計者)

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録 第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録 第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ハ. 電話番号】

【ト. 作成した設計図書】 確認申請書に記載した内容と同様のものを記入してください

(その他の設計者)

※ 構造設計や設備設計等を行った者を含め、全員の氏名等を記入してください

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録 第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録 第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ハ. 電話番号】

【ト. 作成した設計図書】 確認申請書に記載した内容と同様のものを記入してください

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録 第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録 第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ハ. 電話番号】

【ト. 作成した設計図書】 確認申請書に記載した内容と同様のものを記入してください

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録 第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録 第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ハ. 電話番号】

【ト. 作成した設計図書】 確認申請書に記載した内容と同様のものを記入してください

**【4. 工事監理者】 ※記入欄が不足する場合は、欄を行追加するか別紙を作成してください**

(代表となる工事監理者)

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録 第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録 第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ヘ. 電話番号】

【ト. 工事と照合した設計図書】 確認申請書に記載した内容と同様のものを記入してください

(その他の工事監理者)

※ 構造や設備等の工事監理を行う者を含め、全員の氏名等を記入してください

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録 第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録 第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ヘ. 電話番号】

【ト. 工事と照合した設計図書】 確認申請書に記載した内容と同様のものを記入してください

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録 第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録 第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ヘ. 電話番号】

【ト. 工事と照合した設計図書】 確認申請書に記載した内容と同様のものを記入してください

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録 第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録 第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ヘ. 電話番号】

【ト. 工事と照合した設計図書】 確認申請書に記載した内容と同様のものを記入してください

**【5. 建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者】**

(代表となる建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者)

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 登録番号】

【ト. 意見を聴いた設計図書】 **確認申請書に記載した内容と同様のものを記入してください**

---

(その他の建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者)

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 登録番号】

【ト. 意見を聴いた設計図書】 **確認申請書に記載した内容と同様のものを記入してください**

---

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 登録番号】

【ト. 意見を聴いた設計図書】 **確認申請書に記載した内容と同様のものを記入してください**

---

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 登録番号】

【ト. 意見を聴いた設計図書】 **確認申請書に記載した内容と同様のものを記入してください**

---

**【6. 工事施工者】**

【イ. 氏名】

【ロ. 営業所名】 建設業の許可 ( ) ( - ) 第 号

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

工事施工者が2以上のときは、別紙に他の工事施工者についても記入して添えてください

---

**【7. 備考】** 建築物又は工作物の名称を変更したい場合は、新旧が分かるように記入してください。  
(合格証の物件名称として表示されます)

---

申請する工事の概要

【1. 建築場所、設置場所又は築造場所】

- 【イ. 地名地番】 合筆等、地名地番の変更がある場合は「申請書等記載事項変更届」を提出してください  
【ロ. 住居表示】

【2. 工事種別】

- 【イ. 建築基準法施行令第10条各号に掲げる建築物の区分】 第 号  
↑ 確認の特例がある場合のみ記入してください  
【ロ. 工事種別】  新築  増築  改築  移転  
 大規模の修繕  大規模の模様替  建築設備の設置  
↑ 該当するチェックボックスの「■」を選択してください  
【ハ. 建築基準法第68条の20第2項の検査の特例に係る認証番号】

【3. 確認済証番号】 第 号

↑ 直前の確認済証番号(計画変更も含む)を記入してください

【4. 確認済証交付年月日】 年 月 日 ← 同上の交付日を記入してください

【5. 確認済証交付者】

「ハウスプラス住宅保証株式会社」と記入してください

【6. 工事着手年月日】 年 月 日

【7. 工事完了予定年月日】 年 月 日

【8. 特定工程】

- 【イ. 特定工程】 所轄特定行政庁が定めた特定工程名称は正確に記入してください  
【ロ. 特定工程工事終了(予定)年月日】 年 月 日 ← 検査予定日を記入してください  
【ハ. 検査対象床面積】 m<sup>2</sup>  
・「2階の床及びこれを支持するはりを配筋する工事」の検査対象床面積は1階+2階の延床面積の合計になります  
・工区を分けてコンクリートを打設するときは、駄目穴を含み全ての工区の検査が必要となります  
(但し、先行工区の指定がある場合を除く)

【9. 今回申請以前の中間検査】 (第 回) (第 回)

受けた検査は全て記入してください。記入欄が足りない場合は、別紙に必要事項を記入して添えてください

- 【イ. 特定工程】 ( ) ( )  
【ロ. 中間検査合格証交付者】 ( ) ( )  
【ハ. 中間検査合格証番号】 ( ) ( )  
【ニ. 交付年月日】 ( 年 月 日 ) ( 年 月 日 )

【10. 今回申請以降の中間検査】 (第 回) (第 回)

受けた検査は全て記入してください。記入欄が足りない場合は、別紙に必要事項を記入して添えてください

- 【イ. 特定工程】 ( ) ( )  
【ロ. 特定工程工事終了予定年月日】 ( 年 月 日 ) ( 年 月 日 )

【11. 確認以降の軽微な変更の概要】

書ききれない場合は、下記欄に「別紙参照」と記載し、別紙で変更リストを作成して添えてください

- 【イ. 変更された設計図書の種類】  
【ロ. 変更の概要】

【12. 備考】 ■ あらかじめの検討の確定内容を記入してください

- 【木造(軸組)の場合】構造の経過措置の適用の有無を記載してください。  
適用有りの場合は  
「建築基準法施行令第43条第1項及び第46条第4項の経過措置の適用有り」を記載してください

## (第四面)

工事監理の状況

施工されている部分のみ記入してください

	確認を行った部分、材料の種類等	照合内容	照合を行った設計図書	設計図書の内容について設計者に確認した事項	照合方法	照合結果 (不適の場合には建築主に対して行った報告の内容)
	敷地の形状、高さ、衛生及び安全					
	主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料（接合材料を含む）の種類、品質、形状及び寸法					
	主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料の接合状況、接合部分の形状等					
	建築物の各部分の位置、形状及び大きさ					
	構造耐力上主要な部分の防錆、防腐及び防蟻措置及び状況					
	特定天井に用いる材料の種類並びに当該特定天井の構造及び施工状況					
	居室の内装の仕上げに用いる建築材料の種別及び当該建築材料を用いる部分の面積					
	天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上げの材料の種別及び厚さ					
	開口部に設ける建具の種類及び大きさ					
	建築設備に用いる材料の種類及びその照合した内容並びに当該建築設備の構造及び施工状況（区画貫通部の処理状況を含む。）					
備考	2022.4.1以降、建築基準法施行令第121条の2の規定の適用を受ける直通階段で屋外に設けるものがあれば、その有無についてと構造を記入してください。 (EX: 屋外階段あり 鉄筋コンクリート造、屋外階段なし等)					